

(芝生・緑地管理の除草剤)

シバゲンDF



除草剤分類

2

農林水産省登録

第22150号

有効成分

フラザスルフロン 25.0%

性状

淡褐色水和性細粒

人畜毒性

普通物（毒劇物に該当しないものを指す通称）

有効年限

5年

包装

100g × 3袋
20g × 15袋

特長

✓ 幅広い殺草スペクトラムを有します

有効成分フラザスルフロンは茎葉および根部から吸収され、植物特有の分岐アミノ酸（バリン、ロイシン、イソロイシン）の生成を司るアセトラクトート合成酵素（ALS）を阻害する事によって殺草作用を発揮します。一年生雑草全般、多年生広葉雑草、多年生イネ科のスズメノヒエおよび多年生カヤツリグサ科のハマスゲ、ヒメクグに対して高い効果を発揮します。

✓ 日本芝には非常に影響が少なく、休眠期、生育期を問わず使用できます

雑草体内への取込みが早いので、薬剤処理後4~5日で刈込みをすることができます。

✓ 幅広い処理適期を有します

雑草の発生遅い期から生育初期で高い茎葉処理効果を示すだけでなく、処理後の雑草の発生を抑えることができます。従って、雑草発生前～生育初期の幅広い時期に使用することができます。土壤処理効果として、標準薬量0.02g/m²で春夏期で40日程度、秋冬期では120日程度雑草の発生を抑制します。

✓ グリーンアージラン液剤、ザイトロンアミン液剤など他の除草剤との組み合わせにより難防除雑草の防除が図れます。

適用作物と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当たり使用量		本剤の使用回数	使用方法	フラザスルフロンを含む農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量			
日本芝	一年生雑草 多年生広葉雑草	雑草発生初期 秋冬期 雑草発生前	10~30g	100~200ℓ	3回以内	散布	3回以内
	ヒメクグ	春夏期 雑草発生初期		200~300ℓ			
	ハマスゲ スズメノヒエ		20~40g	100~200ℓ			
	西洋芝 (バーミューダ グラス)	一年生雑草 多年生広葉雑草	10~30g	200~300ℓ			
センチピードグ ラス	一年生雑草 多年生広葉雑草	ヒメクグ ハマスゲ		20~40g			
		10~30g	100~200ℓ				
林木苗 (床替 床)	一年生雑草	床替後 雑草発生初期	10~20g	100ℓ	1回	雑草茎葉散布又 は全面散布	1回
くろまつ		定植後 雑草発生初期					

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	10アール当たり使用量		本剤の使用回数	使用方法	フラザスルフロンを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量			
樹木等	公園 庭園 堤とう 駐車場 宅地 鉄道等	一年生雑草 多年生広葉雑草	雑草生育初期 (草丈20cm以下)	20~40g	100ℓ	3回以内	植栽地を除く 樹木等の周辺 地に雑草茎葉 散布	3回以内

※本内容は2026年1月21日付の登録内容に基づいています。

効果・薬害等の注意事項

- 調製した薬液は速やかに使用すること。
- 茎葉処理の際は展着剤を加用し、加圧式散布機を用いて雑草の茎葉部に均一に付着するように散布すること。
- 広葉雑草のうちイヌホオズキ、オオイヌノフグリ、セイヨウタンポポ、ツユクサには効果が劣るので、これらの雑草が優占する場所での使用をさけること。
- 本剤は遅効性で雑草が完全に枯れるまで春夏期で20~30日、秋冬期で30~40日程度かかるので、誤ってまき直しなどないよう注意すること。
- 敷布後6時間以内の降雨は効果を減ずるので天候を見極めてから散布すること。
- 寒地型西洋芝では薬害を生じるので使用しないこと。特にゴルフ場においては寒地型西洋芝を使用しているグリーンやティーグランド周辺では使用しないこと。
- 芝の生育が劣っている場合や生育初期に使用する場合、葉に黄変を生じることがあるが、その後の生育に影響はない。
- 日本芝、バーミューダグラスにはターフを形成してから使用すること。
- センチピードグラスには以下に注意して使用すること。
 - ・ 播種後からほふく茎伸長始期までは強い薬害が生じるので使用しないこと。
 - ・ 萌芽期には、薬害を生じるおそれがあるので使用しないこと。
 - ・ 水田畦畔では使用しないこと。
 - ・ 敷布後一時的に茎葉が赤褐色を呈することがあるが、その後回復する。
- 林木苗（床替床）に使用する場合、バラ科の樹木には薬害を生じるので使用をさけること。
- くろまつには、砂質土壤で使用する場合、薬害が発生するおそれがあるので、十分注意すること。
- 草花、樹木の新葉等には薬害を生じるおそれがあるので、それらにかかるよう注意して散布すること。
- 敷布薬液の飛散あるいは近傍への流入によって有用作物に薬害を生じることがないよう十分に注意して散布すること。
- のり面では近傍へ流入するおそれがあるので使用しないこと。
- 使用後、タンク、ホース、ブーム、ノズル内に薬液が残らないよう散布器具は十分に洗浄し、他の用途に使用する場合、薬害の原因にならないよう注意すること。
- 使用にあたっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管すること。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

安全使用上の注意事項



- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗すること。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをすること。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- 公園、堤とう等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。
- 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管すること。

魚毒性等

使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

保管

直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。

備考

シバゲン®DF 希釗早見表

日本芝でご使用頂く場合

お手持ちの散布器の容量に合わせてご使用ください。

適用雑草と使用方法<拔糾>

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用量		使用方法	10アール=1,000m ² 本剤およびフラグスルフロンを含む農業の総使用回数
			薬量	希釗水量		
日本芝	一年生雑草 多年生広葉雑草	雑草発生初期	10~30g	100~200ℓ	散布	3回以内
	ヒメクグ	秋冬期 雑草発生前		200~300ℓ		
	ハマスグ スズメノヒエ	春夏期 雑草発生初期	20~40g	100~200ℓ		

雑草発生初期

*1坪=3.3m²として換算

散布面積*		シバゲンDF 使用量			希釗水量
		一年生雑草 多年生広葉雑草	ヒメクグ	ハマスグ スズメノヒエ	
散布面積*	希釗水量	雑草発生初期	春夏期雑草発生初期		
990m ²	約300坪	9.9~29.7g	19.8~39.6g	99~198ℓ	
660m ²	約200坪	6.6~19.8g	13.2~26.4g	66~132ℓ	
330m ²	約100坪	3.3~9.9g	6.6~13.2g	33~66ℓ	
100m ²	約30坪	1.0~3.0g	2.0~4.0g	10~20ℓ	
33m ²	約10坪	0.33~0.99g	0.66~1.32g	3.3~6.6ℓ	
10m ²	約3坪	0.10~0.30g	0.20~0.40g	1.0~2.0ℓ	
3.3m ²	1坪	約0.03~0.10g	約0.07~0.13g	約0.33~0.66ℓ	
1m ²	—	0.01~0.03g	0.02~0.04g	0.10~0.20ℓ	

秋冬期雑草発生前

*1坪=3.3m²として換算

散布面積*		シバゲンDF 使用量	希釗水量
		一年生雑草 多年生広葉雑草	
散布面積*		秋冬期雑草発生前	
990m ²	約300坪	9.9~29.7g	198~297ℓ
660m ²	約200坪	6.6~19.8g	132~198ℓ
330m ²	約100坪	3.3~9.9g	66~99ℓ
100m ²	約30坪	1.0~3.0g	20~30ℓ
33m ²	約10坪	0.33~0.99g	6.6~9.9ℓ
10m ²	約3坪	0.10~0.30g	2.0~3.0ℓ
3.3m ²	1坪	約0.03~0.10g	約0.66~1ℓ
1m ²	—	0.01~0.03g	0.20~0.30ℓ

シバゲンDFは単位面積あたりの薬量、散布水量が定められており、“希釗倍率”的ご案内はできません。

散布される面積にあわせて薬量、散布水量を調製し、散布いただきますようお願い申し上げます。



スマートフォンで文字が読みにくい方はPDFをご覧ください。<希釗早見表PDF>